

学校において予防すべき感染症一覧表

第1種 : 治癒するまで出席停止

エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱 痘そう ペスト 南米出血熱 マールブルグ熱 ラッサ熱 急性灰白髄炎（ポリオ）
 ジフテリア 重症急性呼吸器症候群（SARS） 新型インフルエンザ等感染症 新感染症 指定感染症*

* 指定感染症・・・既に知られている感染症であって、症状の重症度や感染力から、その感染症の蔓延を防止するために入院勧告を行う必要のある疾患。厚生労働大臣が政令により一年間に限定して指定する。

第2種 : 疾病により、出席停止期間が異なる

病名	出席停止期間	主な症状	感染経路	感染期間	予防方法
インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)	発症した後5日を経過し かつ解熱後2日を経過 するまで	悪寒、頭痛、高熱、 倦怠感、筋肉痛 喉の痛み	飛沫・接触	発熱1日前から 発熱後7日	手洗い、うがい、マスク 予防接種
百日咳	特有の咳が消失、または 5日間の適切な抗菌薬 療法が終了するまで	初期はカゼ様の症状 次第に特有な「痙咳」 といわれる発作性の咳 が続く	飛沫・接触	発症後28日	予防接種
麻疹 (はしか)	解熱後3日を経過する まで	発熱、カゼ様症状、眼の 結膜充血、頬の内側の粘 膜に白点、発熱後 4日目より皮膚に発疹	空気・飛沫	発熱2日前から 発疹出現後4日	予防接種
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫 脹が発現した5日を経過し、 かつ全身状態が良好になる まで	37～38℃の発熱、片側 から両側の顎の後ろが 大きく腫れて傷む	飛沫・接触	発病7日前から 発病後9日	手洗い、うがい、マスク 予防接種（任意接種）
風しん (3日はしか)	発疹が消失するまで	発熱、発疹、頸部リン節 等の腫脹・圧痛、	飛沫・接触	発疹のでる前後 1週間	手洗い、うがい、マスク 予防接種
水痘 (みずぼうそう)	すべての発疹が痂皮化 (かさぶた)するまで	紅斑、丘疹、水ぼう 膿ほう、かさぶたの順に 進行する発疹	飛沫・接触	発疹のでる1日 前からでた後の 6～7日	予防接種
咽頭結膜熱 (プール熱)	主な症状がなくなった後 2日を経過するまで	発熱、喉の傷み、頭痛結 膜充血、流涙	飛沫・接触	発症後2～3週	プール前後のシャワー 手洗い、うがい
結核	医師により感染のおそれが 無いと認められるまで	初期は自覚症状なし X線が発見されることが 多い。	空気・飛沫		BCG接種 胸部X線撮影
髄膜炎菌性髄膜炎	医師により感染のおそれが 無いと認められるまで	高熱、頭痛、嘔吐 頸部硬直、意識障害	飛沫・接触	有効な治療開始 後24時間	早急な治療 手洗い

第3種 : 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで出席停止

病名	主な症状	感染経路	予防方法	出席停止期間
コレラ	水様性下痢と嘔吐	経口	手洗い	症状により学校医 その他の医師が 感染の恐れはないと 認めるまで
細菌性赤痢	発熱、腹痛、下痢、嘔吐	経口	手洗い	
腸管出血性 大腸菌感染症	水様性下痢、腹痛、血便	飛沫・経口	手洗い、消毒、食品加熱	
腸チフス パラチフス	継続する発熱、発疹	経口	手洗い、消毒、食品加熱	
流行性角結膜炎	結膜充血、まぶたの腫脹 眼の異物感、流涙	飛沫・接触	手洗い タオル等共有しない	
急性出血性結膜炎	結膜出血、結膜充血、流涙 まぶたの腫脹、眼の異物感	飛沫・接触 ・経口	手洗い、目やに・分泌物に触れない タオル等共有しない	
その他の感染症	伝染性紅斑（リンゴ病）手足口病 ウイルス性肝炎 マイコプラズマ感染症 ヘルパンギーナ 感染性胃腸炎（流行性嘔吐症状）溶連菌感染症 等			条件によっては 出席停止になる

